

地域支援事業の実施状況について

●地域介護予防活動支援事業

地域ぐるみで介護予防を進める、各町内会の公会堂等を単位とした「めざせ元気!!こけないからだ講座」を実施します。この講座は、筋力向上をきっかけに、元気な時から切れ目ない介護予防を継続できるとともに、高齢者が地域の気軽に集える場所で交流することにより、認知症・うつ・閉じこもり予防にも効果があります。

市では、講座活動を推進するために、体操に必要な重錘バンドや冊子・音楽CDを貸し出す等の物的支援と、介護予防インストラクターの派遣等人的支援を行っています。

講座の実施主体はあくまでも住民であります。地域の活動継続を見守り・支援するため、市や地域包括支援センターの職員が定期的に訪問して体力測定や介護予防・健康教育の講話等を実施したり、リーダー研修会の場で情報を発信したりしています。

めざせ元気!!こけないからだ講座	H28年度	H29年度	平成30年度
実施箇所数	199箇所	202箇所	209箇所
参加者数(実人数)	3,930人	3,903人	3,874人
参加者数(延人数)	109,210人	109,481人	110,434人

【内容】めざせ元気!!こけないからだ体操

中級編・上級編の体操指導

骨粗鬆症予防、腰痛予防、認知症予防等についての健康教育

地域づくり支援 包括支援センター業務 介護保険制度 総合事業説明
など

●総合相談支援業務

各種制度・施策やサービス提供機関の情報を的確に収集、提供し、高齢者の様々な相談に対応している。

地域包括支援センター訪問件数	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実施訪問件数	3,473件	3,815件	4,098件	3,204件

●認知症施策の推進

認知症に関する正確な知識・支援方法・サービスなどの情報提供を行うとともに、事業者や各種団体を対象とした研修会や、認知症サポーターやキャラバンメイトの養成講座を実施し、地域における認知症の理解者が増えるよう取り組んでいます。

		H28年度	H29年度	H30年度
認知症サポーター養成講座	実施回数	46回	47回	47回
	受講人数	1,008人	1,093人	1,167人
認知症キャラバンメイト養成講座	実施回数	0回	1回	0回
	受講人数	0人	41人	0人

●生活支援サービスの体制整備

生活支援サービスの充実に向けて、生活支援の担い手となる「生活支援サポーター」の養成を行い、高齢者の社会参加や支え合いのしくみに取り組んでいます。

平成29年度には、生活支援サービスを担う多様な事業主体等と連携しながら、日常生活上の支援体制の構築を図るため、社会福祉協議会に第1層のコーディネーターを配置、平成30年度には社会福祉協議会に第2層コーディネーターを8名配置しました。

生活支援サポーター事業	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実施圏域数	5圏域	8圏域	8圏域	8箇所
サポーター累計（登録）人数	104人	179人	172人	195人

●個別地域ケア会議の実施

個別ケースの事例検討を通じて、多職種によるケアマネジメント支援とともに課題解決に向けた施策化を目指す仕組みとして「個別地域ケア会議」を実施します。

要支援者等の新規にサービスを利用するケースを中心に、自立支援に向けたプランになっているか、利用者の笑顔が見えるプランになっているか、専門職種の視点も入れたケアプラン原案の検討を行い生活の質の向上を目指します。

*会議構成メンバー	H28年度	H29年度	H30年度
アドバイザー（医師・薬剤師・リハビリ専門職・管理栄養士・歯科衛生士・包括主任ケアマネ）・プラン作成者・サービス提供事業者・保険者など	38回 (119事例)	49回 (157事例)	49回 (164事例)

●在宅医療・介護連携推進事業

この事業は、支援が必要な高齢者の住み慣れた地域における生活を支援する「地域包括ケアシステム」を構築するための事業のひとつとして、介護保険法により市町村が主体となって取り組むことが求められたものです。

平成 27 年度までは岡山県が津山市医師会に委託して「在宅医療連携推進事業」として取り組みが進められてきましたが、平成 28 年度からは津山市が主体となり、「津山市在宅医療・介護連携推進協議会」を設置し、津山市医師会や美作保健所と連携しながら円滑な事業推進の取り組みを行っています。

事業概要	(1) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
	各職種の代表と行政による代表者会議の開催と 3 つの専門部会の開催 ①在宅医療・介護連携推進協議会 3 回 ②目的別専門部会 社会資源調査部会 4 回 医療連携検討部会 5 回 入退院支援ルール策定部会 5 回
	(2) 地域の医療・介護の資源の把握
	津山市の社会資源調査を行い情報発信。 ①医療機関・事業所のサービス提供体制等の調査を行って最新情報を収集し、津山市ホームページへで情報発信。なお、ホームページをリニューアルし、利便性の向上を図る。 ②社会資源情報の活用状況調査を実施。
	(3) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
	切れ目のない在宅医療・介護サービスの提供体制を検討。 ①入退院時支援ルールの活用状況の実態調査や意識調査を行い、津山市入退院支援ルール（第 2 版）を作成。
	(4) 医療・介護関係者の情報共有の支援
	医療介護従事者の連携をはかる情報共有ツール、基本情報の情報共有について検討。
	(5) 医療・介護関係者の人材育成
	・資質向上研修会 1 回 ・多職種連携研修会 2 回
(6) 地域住民への普及啓発	
・市民フォーラム 1 回	
(7) 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携	
関係市町村との連携を図るため、広域連携が必要な事項について検討。 (美作保健所)	